



TKK 共通シラバス

1. 科目名	国際情勢論				
2. 教員名	浅野 壽夫		3. 担当大学	神戸学院大学	
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	後期	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p><主題> 21世紀は前世紀の戦争の時代の反省として、人類にとって、明るい未来が展望できる世紀として期待されていた。世界は人、モノ、情報の行き来を通じて、確実に前世紀より人々の暮らしや生き方に大きな進展をもたらしている。しかし、21世紀もすでに15年を経過し、依然として人類の将来に大きな不安を抱えつつ経過しているばかりか、人々の生活格差の拡大や大規模災害、地域紛争などの地球規模の課題が顕在化している。本授業は、国際協力の入門編として、これらの地球規模の現状と課題を把握し、国際社会の取組みについて理解する。</p> <p><目標>・地球規模の課題についての現状と問題点、また、それに対する国際社会の取組みについて理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流動的な世界の政治・社会・経済の状況を理解することを含めて、国際社会の中での日本の取るべき対応と責任を説明ができる。 ・これらの課題が地球の他の国・地域の特殊な課題ではなく、日本と共有するものであることを理解できる。 					
8. 授業のキーワード（神）					
地球規模の課題 国際協力 世界の取り組み					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
座学を中心に進めるが、場合によっては映像で理解を進めることも検討している。					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）					
その都度提示する					
11. 事前、事後に受講してほしい講義等（東）					
【事前に受講してほしい講義等】【事後に受講してほしい講義等】					
12. 提出課題など（神）					
レポート、授業内コメント					
13. 評価基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
期末試験（場合によりレポート）（70%）、授業内コメント（30%）					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					
授業計画に沿って国際的課題を解説していくが、国際情勢の変化により、アド・ホックでテーマを変更することがある					
15. 参考（ホームページ（神）、オフィスアワー（工）等）					
日刊紙の国際記事に目を通しておくこと					

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	講義計画と講義概要の説明及び講義の進め方
第2回	世界と日本の課題	世界の抱えている解決すべき課題が日本とどのように繋がっているか、また、同様な課題が日本にも抱えていることを理解する
第3回	世界の情勢 I	現在の国際社会が抱えている地球規模の課題についての概要を理解する
第4回	世界の情勢 II	現在の国際社会が抱えている地球規模の課題についての概要を理解する
第5回	国際社会の取り組み	地球規模の課題に対する国際社会（国連を中心とした）の対応について、ミレニアム開発目標を理解することと、ポスト開発目標を理解する。
第6回	環境 I	地球温暖化による気候変動の課題に対する国際社会の取り組みの歴史と現状を理解する
第7回	環境 II	生物多様性、森林破壊、砂漠化などの環境問題とその対策について理解する
第8回	災害 I	世界の災害(自然災害)の歴史と現状について学ぶ
第9回	災害 II	自然災害に対する日本を含めた国際社会の支援のあり方を理解する
第10回	紛争 I	暴力を伴う紛争の原因・背景を理解するとともに、紛争後の開発課題について学ぶ
第11回	紛争 II	紛争によって派生する様々な問題を理解し、国際社会の対応について理解する
第12回	保健衛生	人間が自由を原則として、人生の選択肢を拡大するのに不可欠な健康及び長寿の課題とその対策について理解する
第13回	教育	人生の選択肢の拡大のひとつの要素としての教育の課題について理解する
第14回	貧困	世界の67億人の5人に1人が1日 1.25ドル以下の生活を強いられている現状が何に起因するものであるか、それに対する対応を考える
第15回	振り返り	国際社会が取り組む地球規模の課題への対応について理解するとともに、これまでの講義の要点を理解する

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。

